

◆日本共産党創立104周年。歴史の岐路に希望の明日を切り開きます。

休日当番病院・医院

9月20日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 苦小牧日翔病院 矢代町 72-7000
- ◆歯科 たかまつ歯科医院 明野新町 57-2300

●診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。変更への対応ができませんので、ご利用の際は電話でお確かめ下さい。

法律相談

親身な相談で定評



9月24日(木)

佐藤 博文 弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

日本共産党

民主 苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

〒053-0855 苦小牧市見山町2丁目2-6 電話 56-5002 Fax 56-5086

日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp/>

苦小牧地区委員会のホームページ <http://jcp-tomakomai-shigidan.com/>

eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

必要な人が購入できるように支援急げ

9月定例市議会 一般質問

森本議員 補聴器購入助成制度導入 一歩前進



9月定例苦小牧市議会が開会した3日、一般質問が行われ、日本共産党の森本健太議員は、加齢などによる「聞こえ」の問題をとりあげ、高齢者への補聴器購入費助成制度の創設を求めました。

市は、加齢性難聴による聴力低下は、日常生活での意思疎通を難しくし、心理的負担や社会的孤立を招く要因となるほか、コミュニケーション機会の減少が認知機能低下や認知症発症リスクを高める可能性があると、「高齢者にとって重要な課題」との認識を示しました。

森本議員は、これまで議会で繰り返し制度導入を求めてきた経緯を踏まえ、「情報収集の段階から、具体的な制度設計を検討する段階に進んでいるのか」とたずねました。健康福祉部長は、「道内自治体の視察や先進事例の分析に加え、市内の補聴器販売店や医療機関とも意見交換を進めている」と答弁。「対象者や助成率、財源確保、医療機関や販売店との調整などについて事業化できるかを含め、多岐にわたる検討が必要で、制度設計できるかを検討を進めている」と答えました。

市は、補聴器の価格について、片耳5万円以下から50万円を超えるものまで幅があり、「高齢者にとって経済的負担は少なくない」との認識を示しています。森本議員は、知内町が購入費の3分の2、片耳8万円・両耳16万円を上限に助成している例を紹介し、「制度を作るだけでなく、実際の価格を踏まえ、必要な人が購入につながる実効性のある助成額にすべきです」と迫りました。

森本議員はさらに、市が2027年度から始まる第10期介護保険事業計画にあわせ、助成制度の検討をすすめることを求めました。

している点についてただしました。町田雅人副市長は、介護報酬改定や財源、制度の持続可能性なども見極めながら、他の自治体の取り組みや運用

泊原発 避難防災計画に実効性はない

脱原発の会

市川弁護士講演 再稼働撤回させよう



脱原発・自然エネルギーをすすめる苦小牧の会は5日、アイビープラザで、泊原発再稼働に反対する講演会と総会を開きました。泊原発廃炉訴訟弁護団長の市川守弘弁護士が「泊原発を再稼働させないために」と題して講演。

市川弁護士は、「鈴木道知事が泊原発再稼働を容認したため、もう止められないと道

上の課題を整理し、「補聴器購入助成の必要性、対象者の範囲、助成内容、制度のあり方などを含め、総合的かつ慎重に検討を進めている」との考えをのべました。

森本議員は、「これまで何度も調査・検討が続いてきています。もう研究にとどまらず、一歩進む時期です」として、できるだけ早く制度化するよう強く訴えました。

民の多くが思っているが、まだまだ止められます」と強調しました。

再稼働するためには必要要件として、●規制委員会の新規制基準をクリアすること●実効性ある避難防災計画のことがあげられ、事実上の要件として知事の同意が必要とされています。

市川弁護士は、「防災計画を作るのは自治体の義務とされています。防災の中心は屋内退避(自宅にこもる)で、30㏊圏外は避難計画は求められていません。福島原発事故の場合は、放射性物質は50㏊を超えて飛散しており、30㏊で安全とは言えません」「原子力規制庁は30㏊圏外への避難を勧めています。避難するとき、バスを使うにも運転手への特別規則はなく、屋

核兵器禁止条約の批准を
大軍拡反対!
外交で平和を
日本共産党

内退避したとしても、近づけず、支援物資は届かない恐れがあります」と指摘しました。

大きな地震が発生し、原発事故も起こった場合、30㏊圏外にある苦小牧市には原子力災害防災計画を作る必要がないため、計画はありません。「道の計画を前提に考えなければなりません。全道を視野にいたれた防災計画にはなっていないため実効性はありません」と批判しました。

市川弁護士は、「複合災害になると屋内退避も不可能であり、防災計画の意味はなしません。全道を視野にいれず、30㏊圏内だけの計画で済ませて、知事は再稼働に同意しています」と批判し、運動を高めて撤回を迫る必要があると訴えました。

講演会後に総会が行われ、活動の方針などが承認されました。

ほんの紹介

▼文学に読む日本人権紀行
新船海三郎著(学習の友社) 1760円(税込)

侵略戦争下での弾圧、犠牲、敗戦後の生活苦、労働運動弾圧に対しての人々の戦いを、文学は記録し描いてきた。

カジノ誘致許さず 道産ジャガ守れ

道議会開会 共産道議団 暮らし・営業守れで論戦



国内のジャガイモ生産の約8割、種イモでは約9割を占める道産ジャガイモに大打撃を与えるとし、「米国に言われるままの輸入など許されません」と訴えました。

カジノを中心とする統合型リゾート施設（IR）誘致に前のめりな鈴木知事の姿勢を批判。《カジノ誘致は絶対許されない》との立場で論戦をしていくと表明しました。

北海道議会9月定例会が開会した8日（会期は10月2日まで）、日本共産党道議団（真下紀子団長）は道庁前で開会日宣伝を行いました。

丸山はるみ議員は、米国が要求している生食用ジャガイモの輸入解禁について、ジャガイモなどを枯死させる病害虫の侵入リスクが高いと指摘。

臨むべきです」と訴えました。各地で相次ぐ災害対策として、エネルギー政策の転換を訴え、「食糧・エネルギーを自給できる北海道が、自立した地域として発展していくた

アイヌの先住権回復を考える

来月白老で「アイヌの先住権回復を考える」紙・岩淵氏ら参加

日本共産党北海道委員会と同志苦小牧地区委員会は、来月に白老町にて「アイヌ民族の先住権を考えるつどい」を開催します。

アイヌ施策推進法（2019年成立）には、施行5年後に施行状況を検討し見直す規定していますが、政府はアイヌの先住民族としての権利回復、繰り返し差別的な差別を解消するための法改正を行おうとします。

大学の遺骨収集の問題に対する謝罪など変化が生まれていますが、いまだ公共の場での差別表現がふりまかれたりするなど、様々な課題が残さ

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぼ

赤旗

日刊 3497円
日曜版 990円

めに、みなさんと力を合わせます」と決意をのべました。

こんにちは
小野寺ゆきえです



市の使用料・手数料 値上げが提案 断固反対

9月の総務委員会が公共施設の使用料や窓口での手数料の値上げ案が示された。私は断固反対です。コミセンや総合体育館などの49施設と、住民票や印鑑証明など549項目の発行手数料の値上げが計画されています。市民生活が大変なのに、値上げなど言語道断です。

値上げ理由は、「行政サービスにかかる経費や消費税改定など、社会情勢を反映し、適正な受益者負担を確保する」としています。「行政サービスにかかる経費」は、施設の指定管理者制度導入や民間委託で減っています。総合体育館は、指定管理にしたことで550万円も削減。市役所の証明書発行窓口の民間委託で3000万円も削減されています。削減効果分を活用して、値下げを検討しても良いはずです。

「消費税改定」を理由にするなら、国に文句をいうべきであり、市民負担を求めるのはお門違いです。

一番腹立たしいのは、「適正な受益者負担」です。施設などを利用する人と利用しない人がいるため、利用していない人から不満が出ないように適正化するという説明です。不満の声があるのかと聞くと「ない」と言います。

加えて、「20年間も値上げしてこなかったのに、見直しの検討を重ねてきた」とまで言い出しています。理由にはなりません。20年前に値上げをしたのは、苦小牧がとも財政難で、財政健全化が課題だった時期で、当時の市長が財源確保のためにあらゆる使用料・手数料の値上げを一斉に行いました。「市民負担が先行することにはあつてはならない」と職員の給与カットと、職員削減も同時に実施するというひどい市政運営でした。今は財政の健全性を保ち、当時と状況が違います。この社会情勢で苦しんでいる市民生活を守るために、負担軽減を提案するべき時期です。12月議会で値上げ反対でがんばります。

小野寺幸恵（おのでら・ゆきえ）日本共産党苦小牧市議会議員・市議団長

休日当番病院・医院

- 9月21日（月）敬老の日
 - ◆ 内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
 - ◆ 外科 ハート整形ペインクリニック 三光町 38-7000
 - ◆ 歯科 橘歯科医院 しらかば町 75-7527
- 9月22日（火）国民の祝日
 - ◆ 内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
 - ◆ 外科 にっしん泌尿器科クリニック 日新町 71-1100
 - ◆ 歯科 ささ歯科クリニック 沼ノ端中央 53-8299
- 9月23日（水）秋分の日
 - ◆ 内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
 - ◆ 外科 苦小牧泌尿器科・循環器内科 明野新町 57-0455
 - ◆ 歯科 木の花歯科 大成町 71-3535

原水爆禁止世界大会 苦小牧代表団 報告会

9月25日（金）19時
アイビープラザ学習室

苦小牧地区から3人が広島大会に代表派遣されました。各代表からの報告と交流を行います。

主催：原水爆禁止苦小牧協議会



19日行動で憲法守れと訴える小野寺市議（8月19日山手町）